

第5回事業企画大賞 報告書

事例発表

<事業企画大賞>

事業名	国内版GEM調査研究事業
施設名	佐賀県立男女共同参画センター(アバンセ)
審査コメント	<p>データが他の都道府県と比較されており、全国にむけて発信できる可能性の高い事業であり、男女共同参画センターが政策提言するためのツールとなり得ると考えます。様々な分野で活用され役立つ資料として、今後の取り組みも楽しみです。予算をかけずにスタッフの高い能力と努力でまとめられた事業であり、また地道な調査を続けていることから、効率性、継続性という点からも高く評価できます。</p> <p>今後は、GEMに沿った既存の項目だけでなく、ジェンダー統計としてどのような調査項目がふさわしいのか、全国への提言を意識して、深めてもらいたいと思います。</p>



<事業企画奨励賞>

事業名	中学生向け冊子『Together-巣立ちゆくあなたへ』 企画編集発行事業
施設名	城陽市男女共同参画支援センター ぱれっとJOYO
審査コメント	<p>若年層からの男女共同参画の意識啓発はとても大切なことですが、一般的に学校側との連携はかなり困難な状況ながら、学校および教育委員会と連携して実施されたことを大いに評価したいと思います。アンケート項目が充実しており、アンケートを実施したこと自体が啓発につながっていると考えます。</p> <p>中学生がこの冊子を読んで内容をすべて理解することは難しいと思いますが、出前講座で活用されるということで、各学校での出前講座の継続と実践の成果に期待したいと思います。</p>



表彰式

<事業企画奨励賞>

事業名	アラサー女子限定！ワタシが選ぶこれからのワタシ
施設名	静岡市女性会館
審査コメント	<p>メインターゲットを的確に絞って企画されており、女子労働に関する講座の実践経験からの今日的課題の提案であり、評価できます。</p> <p>女性のライフステージを見据え、広報、講座の運営方法など女性センターの総合力が生かされた効果的な事業です。チラシも、ターゲットに関心をもってもらえるよう上手に作られています。また、担当者が、連続セミナー受講者のモチベーションを高めるため、講座運営に際してきめ細やかに対応されている様子が伝わってきます。</p>

副賞協力：マイクロソフト株式会社・株式会社廣貫堂

<審査委員会>

- 本田百合子（本田会計事務所所長・公認会計士）★審査委員長
- 藤田公仁子（富山大学地域連携推進機構（生涯学習部門）教授）
- 本田光信（北日本新聞社 編集局 文化部部長）
- 青木玲子（NPO 法人全国女性会館協議会 常任理事）
- 寺西外美（富山県民共生センター「サンフォルテ」館長・富山県女性財団専務理事）